

読書の秋到来！高校生 1,000 人による「スタサプ・読書大賞 2022」

＜好きな作家＞ 1位「東野 圭吾」、2位「住野 よる」、3位「湊 かなえ」
 ＜好きな小説ジャンル＞ 1位「恋愛」、2位「推理・ミステリー」、3位「青春」

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）が提供する進路情報メディア『スタディサプリ進路』は、スタディサプリ編集部の高中生エディター＆公式 LINE 登録者を対象に“読書”についてアンケートを実施致しました。また、こちらのアンケートの詳細は『スタディサプリ進路』内の「#高校生なう」でお知らせしています。

URL：<https://shingakunet.com/journal/fromsapuri/20220905000001/?vos=scrmot00026>

■高校生 1,000 人が選ぶ「好きな作家 TOP3」「好きな小説ジャンル TOP3」は…？

今回が初回となる「スタディサプリ進路・読書大賞 2022」。動画サイトや SNS と活字以外の娯楽にも多く恵まれている中で、今の高校生が、どんなことを“本”に求めているのかが浮き彫りとなる結果になりました。

「好きな作家ランキング」では、直木賞をはじめとした数々の賞を受賞し、多数の作品が実写化もされている「東野 圭吾」さんが堂々1位に。ミステリー小説を愛する高校生たちから、“最後までよめない展開が面白い”と支持する声が上がりました。2位は、「住野 よる」さんがランクイン。切ない青春小説が人気で、高校生や学校を舞台にした作品が多く、世界観が好きという声が多数。3位は、デビュー作の『告白』や今年11月映画公開予定の『母性』など、映像化作品も話題の「湊かなえ」さん。現代文の授業で知って、という人も多く、高校生なら必ず通る小説家という印象。

また、「好きな小説ジャンル」は、僅差で1位が「恋愛」、2位「推理・ミステリー」がランクインし、3位に「青春」の結果に。

「好きな作家」、「好きな小説ジャンル」、この二つの結果を組み合わせると、どれだけ娯楽の幅が増えたとしても、“本”に求めるのは没入感や疑似体験、ハラハラドキドキのような感情の振れ幅であるということが分かります。

順位	好きな作家 TOP 3	得票数
1	東野 圭吾	100
2	住野 よる	66
3	湊 かなえ	48

<自由回答/n=1000>

順位	好きな小説ジャンル TOP 3	割合
1	恋愛	49.7%
2	推理・ミステリー	48.8%
3	青春	40.6%

<複数回答/n=1000>

■＜高校生の読書に関するデータ＞

・本・漫画・雑誌に使う月平均額は、「1,410円」とお小遣いの約4分の1を占める

月に本や漫画、雑誌に使っている平均金額は「1,410円」となり、お小遣いの平均金額「5,582円」(※1)の約4分の1という結果に。何かと娯楽が多く、出費もかさむであろう今の高校生にとっては、決して少なくない金額を費やしていることが分かります。

(※1)2022年6月15日に発表した「高校生お小遣い実態調査 2022」より

・本を読む目的は、楽しみ、息抜きを表す項目が上位にランクイン

宿題や課題のイメージから義務的と思われるがちな、“本”に絞って読む目的を聞くと、1位「リフレッシュ」、2位「ただただ好きだから」、3位「現実逃避したい」がTOP3に入り、楽しみな息抜きとして読書に向き合っている様子です。

・本を手取るきっかけは、1位「書店のPOP」が6割越え！オンラインよりもオフラインの方がまだまだ強い

オンラインでの買い物が主流になった今、本も欲しいと思ったときに最短即日で自宅配送もされる時代ですが、実際に手取るきっかけは、66.4%が「書店の店頭POP」と答える驚きの結果に。「書店のPOPは店員さんのおすすめの本で面白い内容のものが多いから」(男子/神奈川県)など、店員さんを信頼しているといった声も多く、訪れる書店ごとでの出会いを楽しんでいる様子。

<“本”を読む目的 TOP5>

順位	本を読む目的	割合
1	リフレッシュ	70.2%
2	ただただ好きだから	54.0%
3	現実逃避したい	32.4%
4	学校で学べないことを知りたい	16.1%
5	将来の夢を探すため	15.5%

<複数回答/本を読む n=601>

<“本”を手取るきっかけ TOP3>

順位	本を手取るきっかけ	割合
1	書店の店頭POP	66.4%
2	友達のおすすめ	30.6%
3	TikTokやInstagram、YouTuberなどのインフルエンサーの紹介	29.6%

<複数回答/本を読む n=601>

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

【アンケート概要】

- 調査時期：2022年8月16日（火）～2022年8月18日（木）
- 調査方法：インターネットリサーチ
- 調査対象：全国高校生男女（『スタディサプリ進路』の高校生エディター/公式LINE登録者）
- 有効回答数：1,000件（男子314件、女子686件）
- 調査実施機関：株式会社リクルート

■『スタディサプリ進路』について

『スタディサプリ進路』は、1970年に創刊した『リクルート進学ブック』に始まり、2020年に50周年を迎えた、リクルートグループにおいて就職支援に次いで歴史の長い事業です。“「学びたい」「学んでよかった」がもっと増えていく世界の実現”をコンセプトに、変化が激しい社会の中で生徒が生き抜くために、「なりたい自分」と「自己実現できる学校」を発見し、「自分に合った進路選択の実現」を可能にするためのサービスを提供しています。高校3年間を通して、「自己理解」「職業観育成」「学びの内容理解」「学校研究」に対応するさまざまな教材ラインアップを無料で提供しています。

（詳細：<https://shingakunet.com/rnet/column/rikunabi/index.html?vos=conttwnowother00010>）

■“スタサブ編集部”について

全国3,000人以上の現役高校生からなる「スタサブ高校生エディター」と共に、高校ライフにフィットするコンテンツを作る編集部。進路や受験勉強のノウハウはもちろん、夜食レシピやメンタルを支える名言などの多様なコンテンツを、Webサイト『#高校生なう』、年8回発行の雑誌『スタサブ進学マガジン』、アプリ『スタディサプリ for SCHOOL』、会員向けメールマガジン、各種SNSで配信中。

なお、今回のアンケート結果をさらに詳しく分析した記事は『#高校生なう』の下記URLにて公開中。

<URL：<https://shingakunet.com/journal/fromsapuri/20220905000001/?vos=scrmtot00026>>

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>